

## 「つるおか新図書館整備事業基本構想（案）」に対する意見公募の結果

### 1 概要

- (1) 募集期間 令和7年2月19日（水）から令和7年3月12日（水）まで
- (2) 意見提出者 10名 意見総数 20件

### 2 いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
賛同	素案に対して同趣旨の意見、賛同をいただいたもの	2
修正	ご意見の趣旨を参考にして案を修正したもの	0
参考	今後の施策や事業実施にあたり参考とさせていただくもの	18
合 計		

### 3 意見と意見に対する考え方

- ご意見の内容により分類して掲載しております。
- ご意見について一部要約等を行っている場合があります。

#### (1) 素案に対して同趣旨の意見、賛同をいただいたもの

No.	ページ	ご意見	分類	ご意見に対する考え方
1	全体について	このままで良いと思う。明るい雰囲気にしてほしい。	賛同	基本理念として提示した「学び 出あい 育つ みんなで つくる つるおか図書館」の元に、現在の図書館の良いところを新図書館でも受け継いでいけるよう努力するとともに、今後の参考にさせていただきます。

2	全体について	基本構想に賛同します。高齢化、少子化の時代のニーズに合った文化都市鶴岡らしい図書館にしてほしいです。	賛同	上記に同じ
---	--------	--	----	-------

(2) ご意見の趣旨を参考にして案を修正したもの

No.	ページ	ご意見	分類	ご意見に対する考え方
		なし		

(3) 今後の施策や事業実施にあたり参考とさせていただくもの

No.	ページ	ご意見	分類	ご意見に対する考え方
1	7～8	<p>「ユネスコ公共図書館宣言 2022」では、公共図書館のサービスは「すべての人が平等に利用できるという原則」に基づいて提供されなければならない、として「理由は何であれ、通常のサービスや資料の利用ができない人々、たとえば言語上の少数グループ(マイノリティ)、障害者、デジタル技能やコンピュータ技能が不足している人、識字能力の低い人、あるいは入院患者や受刑者に対しては、特別なサービスと資料が提供されなければならない。」と謳っています。</p> <p>東北1番目の広大な面積を持ち、且つ人口減少が進む本市においては特に、「一点豪華主義」的な建物をつくることよりも、ネットワークやアウトリーチを重視した文化施策をとっていくことこそが重要だ</p>	参考	<p>市民対話の中にも、図書館が様々な立場の方の居場所となり、学びとつながりができるようにという意見があります。基本理念「学び 出あい 育つ みんなでつくる つるおか図書館」を具現化していく中で、誰もが気軽に集え、ここにいることを楽しめる図書館づくりのため、参考にさせていただきます。</p> <p>また、子どもや高齢者など移動手段が限られる方に向けて、本へのアクセスを向上させるため、オンラインサービスと移動図書館の組み合わせなど、新たな連携も検討していきます。</p>

		<p>と思います。</p> <p>そうした視点から「基本構想案」P7の「”学びとつながり”にかかわる主な意見」で出ている意見をしっかり掘り下げて具体化していくことを希望します。</p> <p>とりわけ「来館者数を増やすためだけに本来の目的を見失わないように」という鶴岡市民の意見はとても大切だと共感します。</p>		
2	13	<p>学校図書館との連携は大切ですが、子どもたちは学校で過ごす時間が長いわけですから、すべての学校に常勤で専任の司書を配置することが基本だと思います。教室には入りにくくても図書室が自分の居場所だった、という子も身近にいました。</p>	参考	<p>図書館では学校図書館との連携を図るため、司書資格のある職員を学校図書館へ「学校図書館支援員」として派遣し、学校図書館の運営を支援しており、今後も連携を深めてまいります。また、司書の配置につきましては、いただいたご意見を今後の参考にさせていただきます。</p>
3	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出利用者宅への書籍の往復配送。配送は郵送で送料は無料。</li> <li>・図書館の貸出できる書籍をすべて開架図書とする。</li> <li>・書籍すべてに電子タグをつける。〈酒田市立図書館ではやっている。〉</li> <li>・くらげ水槽の常設提示。</li> </ul>	参考	<p>新たな図書館で必要なサービスと利用イメージについては、構想の13ページにまとめており、具体的なサービスや機能等については今後検討していきます。</p>
4	13-14	<p>①郷土資料館にあるすべての郷土資料の電子書籍化して初めのうちは、有料のちに無料で情報提供する</p>	参考	<p>郷土資料は問合せの多いものなどを順次デジタル化して利用者に提供しています。今後も著作権に配慮しながら利用頻度とのバランスをみながらデジタル化を進め、資料の保存と活用を図ります。</p>

5	13-15	<p>東北一面積の広い本市において、本館だけでなく各地域に分館を残したことはよいと思う反面、借りた本があちこちに分散していることが面倒。サービスとして、予約や取り寄せ等を行ってくれることは存じているが、本館に行き検索用 PC で検索した際、ヒットはしても閉架書棚か地域分館にあることが非常に多い。どうしても借りたければ取り寄せ等してもらおうが、ちょっと気になる程度の場合、あきらめることもある。分館も残しつつ、新図書館となった暁には、本館にはより多くの本をそろえ、手軽に見られるように開架書棚の本を拡充してほしい。</p>	参考	<p>構想では施設整備の考え方として、「利用者の多様性に応えられる機能」と「効率的なサービスを提供し、十分な開架と収蔵スペースを確保する必要がある」とし、新たな図書館では利用者の利便性の向上を目指します。</p>
6	13	<p>県立図書館がいくら充実しても庄内住まいには全く恩恵がない。山形県からも庄内に資金面だけでも援助を求めたい。</p>	参考	<p>現在、本市が利用できる県立図書館のサービスは主に次の二つがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「相互貸借」：自館が収蔵していない本を他館から取り寄せて貸し出す制度。県立図書館や他の図書館とも日常的に実施しています。</li> <li>・「電子書籍」：県立図書館の電子書籍は県立図書館の利用カード登録を行った方は県内全域で閲覧が可能です。</li> </ul> <p>ご意見については今後の参考とさせていただきます、県へお伝えします。</p>
7	14	<p>学校だけではなく、保育園や幼稚園への支援やアウトリーチにも力を入れてほしい。</p>	参考	<p>構想では移動図書館を活用して「子どもや高齢者など移動手段が限られる方に向けて、本へのアクセスを向上させます」</p>

				と記載しています。この一環で、利用希望のある保育園や学童保育所等については、移動図書館やまびこ号が月1回定期で訪問しております。また、子どもに関する事業に係るやまびこ号の出張貸出も行っており、これらは今後も継続していきます。また、子どもの読書支援に関わる活動を同時に展開することを検討していきます。
8	14	<p>温海地区の住民としては延床面積が他の1/3にも満たない、障害者の方も車椅子で自由に本を選べない現状は新図書館建設と同時進行で解決していただきたい基本的な（最低限の）要求です。</p> <p>過疎化が一番進行する温海で空いているスペースは多く、本来のように広い延床は望めなくても、地元の知恵と協力で何とか使いやすく未来の子どもたちにも残せるような環境づくりをしていってほしい。</p> <p>そのためには建設予算とは別枠で分館（特に温海の）予算を地元で計画できて実施できるように確保をお願いしたいです。</p>	参考	<p>分館は、これまでそれぞれの整備経過により、施設規模に相違がある状況で、温海分館が狭隘であることは認識しています。</p> <p>新図書館の理念と方針を踏まえ、貸出しサービスなどは分館においても利便性を高めていきたいと考えていますし、将来的な整備については、適切な設置場所という観点も念頭に置きつつ、地域の関係者の知恵と協力をいただきながらより良い方向を検討していきます。</p>
9	14-15	「あれもこれも」盛込むのではなく、既存の施設や資源の有効活用とセットで検討するべきではないかと思えます。	参考	図書館サービスと連携することで市民の生活を支え、新たな市民活動を生み出し、既存の施設等の相乗効果も期待できる機能について検討していきます。

10	15	<p>駐車場の整備・拡大は必須。道路も狭く入られない。今となつてはなぜそんな人目につかないところにあるのか、と感じてしまう。</p>	参考	<p>構想では来館者がスムーズに利用できる方式を検討し、あわせて公共交通の利便性を高めていくことを目指すこととしています。</p>
11	15	<p>第7 整備方針</p> <p>(2) 環境負荷低減等の配慮事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時に対応できる施設にする。</li> <li>・太陽光発電など再生可能エネルギーを全面的に使用し、発電量など可視化する。</li> <li>・雨水利用や中水利用などの設備を作り、トイレや屋外の散水に利用する。</li> <li>・建物の外に災害用マンホールトイレが設置できるマンホールを数多く整備し、災害時に役立つ。</li> <li>・木材・建材は、温海や田川、朝日などの地元産材を使用し、遠くから運ぶ環境負荷をかけない。同じく、テーブルやイス、カウンター、棚などもなるべく地元産材を使用する。○○産と明記する。</li> <li>・冷暖房の方法では、安全で効率的な方法を考える。建物自体の設計でも冷暖房効率が良いものを。</li> <li>・カフェやレストランを併設する場合は、食材などできるだけ地産地消を目指す。(市内の菓子店やカフェ、レストランなどと連携して提供しても</li> </ul>	参考	<p>基本構想では、ネット・ゼロ・エネルギービル (ZEB※) など環境負荷低減に向けた取り組みや、バリアフリー、周辺環境との調和にも配慮していくとしています。</p> <p>提案いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>※ZEB 快適な室内環境を保ちながら、建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを旨とした建物。</p>

		<p>よいと思う。)</p> <p>○すべての公共施設は、今後、災害対応を基本に整備してほしい。学校や市役所、コミセンなども太陽光発電や雨水・中水利用を進めて、環境先進都市つるおかにしていきたい。</p>		
12	15-17	<p>人口減少、少子化が顕著で消滅可能性都市にも名を連ねているのですから、新築にとらわれず、公共、民間施設を活用したリノベーションも検討してもらいたい。民間の倉庫を活用した事例や、子どもの遊び場、高齢者の健康増進機能、生涯学習施設はもとより、ショッピングセンター（スーパー）なども併設した先進事例も参考にするべき。</p> <p>箱ものにお金をかけず、内容、機能を充実させこれからの変革に対応できる施設にしてください。建物の構造上の寿命は長くしても、社会に求められる機能の寿命は短い。駅前の閑散としたマリカ、使われない会議室、ホール。完全に失敗したフーデバーを改修し、欲しい（必要な）面積ではなく、やれる範囲の中で計画を練るべき。中高一貫校（致道館）により、酒田からの学生も増えるのであれば、駅前の活性化は不可欠です。顔となる駅前に手を掛けずして、食文化創造、日本遺産などは嘲笑の的である。市民の声を聴くのも大事だが、首長が今後、地元文化を次の世代に</p>	参考	<p>事業用地については、選定基準を設定し、基本計画段階で評価し、選定します。</p> <p>施設の具体的な規模や、機能・構成・ゾーニングなどについても、市民対話・官民対話を踏まえ、基本計画の中で整理してまいります。</p> <p>構想案では「学び」「出あい」「居場所」「子ども」「郷土」の五つのキーワードに基づく基本方針をあげています。</p> <p>新たな図書館は本を通じた人と人との出あいと交流を生み出し、地域づくりに貢献すること、だれでも気軽に立ち寄り、居心地よく過ごせる場所になることを目指します。</p> <p>また、子どもの読書活動と個性を尊重した学びを支えるとともに、鶴岡の歴史と文化をつなぎ高めることを目指します。</p>

		<p>伝承し、観光資源の更なる発展・活用を図るために必要な街づくりのビジョンを市民に伝え、強いリーダーシップの下に、将来への希望・展望を描ける計画としてもらいたい。</p>		
13	16	<p>まちキネ、映画館と図書館と共に共存共栄のため、まちキネ東側の空き地、駐車場、せまいのであれば（マシマ家具跡地に土地あり）を活用すれば、本と映画のコラボ実現できるのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>事業用地については、選定基準を設定し、基本計画段階で評価し、選定します。</p>
14	16-17	<p>新図書館を山王町の旧マシマ跡地に希望いたします。ドーナツ化現象なのかもしれませんが、駅からも近く、郵便局もありますが、人口も商店も減っています。商店街の一人としては、新しい人にお店を出して欲しいと心から願っています。そのためには、賑やかになってほしいと思います。酒田のようにコーヒーや軽食コーナーもあつたらいいし、気軽に立ち寄れるフリースペースも希望します。</p> <p>コミセンにはあるのかもしれませんが、親子で参加できるイベント広場や遊び場、高齢者が体を動かして集まれる場所などがあれば、それに向けて多くの人が企画することもできますし、人と人との関わりができて孤独を感じる人が少しでも減るのではないかと思います。また、山王町の避難場所にもなればもっと良いと思います。</p>	参考	<p>事業用地については、選定基準を設定し、基本計画段階で評価し、選定します。</p> <p>施設の具体的な規模や、機能・構成・ゾーニングなどについても、市民対話・官民対話を踏まえ、基本計画の中で整理してまいります。</p>

15	16-17	<p>⑤まちなかシネマ周辺に図書館を移し、鶴岡ガスの厨房で料理本に載っている料理を参加者でつくる催しをする。</p>	参考	<p>事業用地については、選定基準を設定し、基本計画段階で評価し、選定します。</p> <p>施設の具体的な規模や、機能・構成・ゾーニングなどについても、市民対話・官民対話を踏まえ、基本計画の中で整理してまいります。</p>
16	16-17	<p>中心部の空洞化を解決できるように、様々な商店街活動・居住系もランドバンク事業等の活動をやっております。人口減少化でなかなかこれといった鶴岡市の中心部の打開策もない中で、図書館を中心部に移転させることは人々が交流する大きなコミュニティの場となる可能性が高く、活用方法によっては街中のにぎわいづくり・活性化につながると思います。</p> <p>そうした中で、山王町の旧マシマ家具跡を含む約1000坪の土地は、歩車道融雪設備付きのメイン道路を含めた3方道路に面している正形地で、交通のアクセス面でも駅～市役所、高校等の学校の間地点にあり、一般市民だけでなく学生やインバウンドの方々の集まる拠点を作ることも可能と思います。</p> <p>山王町の中、近隣には「まちなかキネマ」もあり、当該敷地の1000坪以外にも近くに約100台の多くの駐車場も確保することができるため、中心部へ車で移動するたくさんの市民にも対応できます。そ</p>	参考	<p>事業用地については、選定基準を設定し、基本計画段階で評価し、選定します。</p> <p>施設の具体的な規模や、機能・構成・ゾーニングなどについても、市民対話・官民対話を踏まえ、基本計画の中で整理してまいります。</p>

		<p>の他にも若干正形地の利用できる土地も商店街内にあり、また緑の多い山王神社や川端公園もあり城下町らしさを感じることもできる地区です。</p> <p>図書館ができれば図書利用だけでなく未来へ繋ぐ夢が広がることも可能と考えます。</p> <p>また、山王商店街では、おいやさ祭りやナイトバザール等のイベントを行っている実績も多くあり、そうしたイベントのタイアップ企画など、ハード面だけではなくソフト面の未来を考えても大変魅力的な場所だと考えます。</p>		
17	17	<p>(2)公益社団法人日本図書館協会は2017年に「日本図書館協会は、図書館への指定管理者制度の導入はなじまないと考えます。」と題するパンフレットを発行し、公立図書館の目的、役割、機能の基本を踏まえた指定管理者制度の問題点を提起しています。一度導入してしまえば後戻りは難しいと思います。民間委託を視野に入れた事業の進め方はしないでいただきたいと切に願います。</p>	参考	<p>構想では「図書館が有する多様な情報を活用し、市民と協働し、市の施策や地域と連携したサービスを提供できる職員の確保と育成に継続的に取り組み、本館・分館を含め、図書館サービスの向上を目指します。」と記載しています。運営体制については、この方針に基づいて検討していきます。</p>

18	17、19	<p>建物はシンプルに(「文化会館の二の舞にはしないでほしい」という声もきかれます)「建物」より「人」(人員体制の充実、専門性の向上、雇用の安定など)にお金をかけてほしいです。</p> <p>新図書館を造ることだけではなく、つくった後の方がむしろ大切だと思います。住民の声を運営に反映させる、情報の開示請求に応えるなどの仕組みを担保するためにも、民間委託は行わないでいただきたいと思います。</p>	参考	<p>設計、建設、運営、維持管理の各業務や官民連携手法等は今後の検討課題としております。ご意見は参考にさせていただきます。</p> <p>施設の具体的な規模や、機能・構成・ゾーニングなどについても。市民対話・官民対話を踏まえ、基本計画の中で整理してまいります。</p>
----	-------	---	----	--